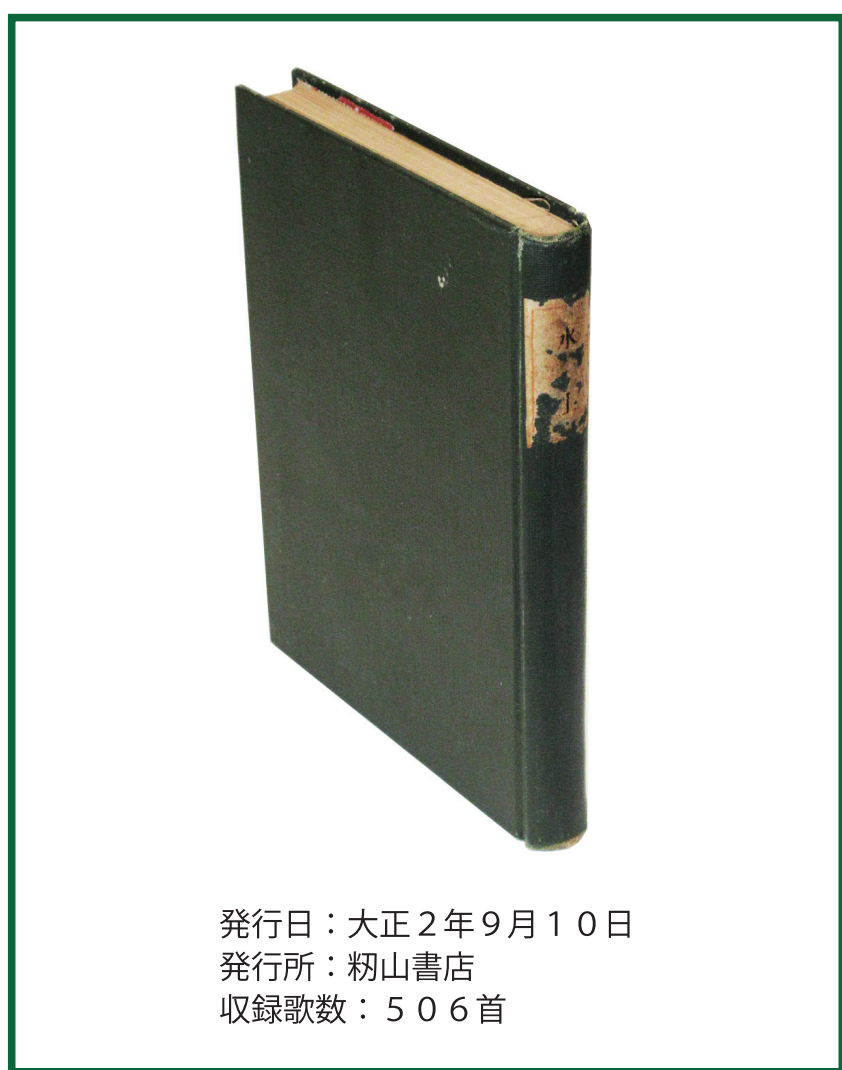


収蔵資料から

其の92 第6歌集『みなかみ』



発行日：大正2年9月10日
発行所：柗山書店
収録歌数：506首

第6歌集『みなかみ』は、大正1年9月頃から翌3月までの歌が収録されています。

明治45年7月、父危篤の知らせを受けて牧水は帰郷します。11月に父が永眠し、牧水はふるさとの残るべきか上京して文学を続けるべきか、思い悩む日々を送ります。そのころ詠んだ歌は、

納戸の隅に折から一挺の大鎌あり、
汝が意志をまぐるなどいふが如くに

きゆうとつまめばいとなくひな人形、
きゆうとつまみていとなかする

のように、多くは口語的発想のもので、三十一音という約束を破った、いわゆる「破調の歌」でした。

牧水歌碑めぐり

其の94 京王百草園（東京都）



昭和60年建立

牧水詠
旅人書

小鳥よりさらに身かるくうつくしく
かなしく春の木の間ゆく君

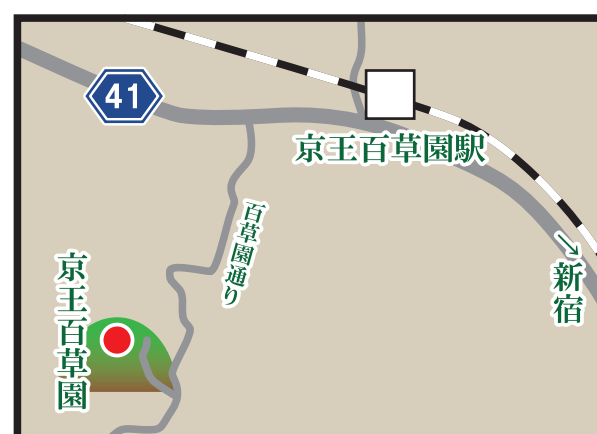
明治41年4月、牧水は恋人小枝子と一緒に百草園に出かけました。この歌はその時に詠まれたものです。

摘みてはすて摘みてはすてし野のはなの
我等があとにとほく続きぬ

という歌も詠んでいます。

小高い丘にある京王百草園は江戸時代から文人墨客に親しまれた観光的庭園で、旅館はありませんでしたが、茶店があつて泊めてくれました。

歌碑は牧水生誕百年を記念して建てられました。筆蹟は牧水の長男旅人によるものです。

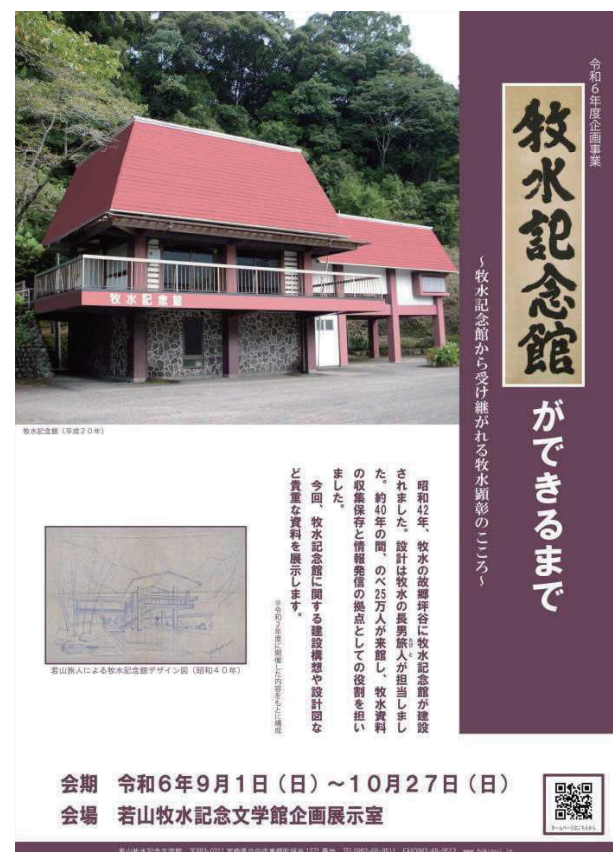


(参照『若山牧水全国歌碑集』)

文学館だより

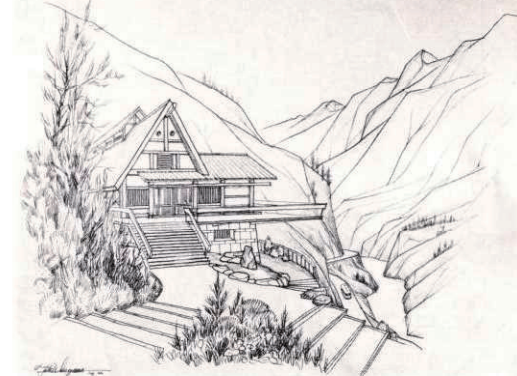
令和6年9月1日
若山牧水記念文学館
TEL 0982-68-9511
文責 日高第101号

企画展「牧水記念館ができるまで」9月1日(日)より開催



現在の若山牧水記念文学館は平成17年に開館しました。それまで牧水資料を保管展示していたのが「牧水記念館」です。牧水生家横に建っていた赤い屋根の「牧水記念館」を覚えていらっしゃる方も多いのではないのでしょうか。昭和40年に時を戻します。傷みが激しくなった牧水生家の修復と保存計画が持ち上がります。牧水生家修復と同時に、牧水記念館も建設してはどうかとの提案が上がりますが、誰一人として賛成する者はいませんでした。時を改め当時の県知事黒木博氏に懇請したところ、「牧水は本県が生んだ日本の歌人だから後世に残る事業をなさってはどうか。」との言葉をもらい、顕彰会は「若山牧水生家保存牧水記念館建設協賛会」を発足させ、大がかりな事業に着手しました。今回の企画展は、牧水生家修復事業にも触れ、修復前と修復後の生家写真を見ていただきます。その後再度修復作業を経て現在も多くの方に見学いただいています。(右写真は修復前の牧水生家)

さて、「牧水記念館」を設計したのは牧水長男旅人(たびと)であることはご周知のとおりですが、旅人氏が残した記念館設計図やそれ以前の記念館イメージ図、完成予想図も展示いたします。なかなか目に触れることの少ない希少度の高いものばかりです。その他にも当時を語る資料を一挙公開いたします。どうぞ足をお運びください。お待ちしております。



第74回牧水祭を開催します 献酒に来てください

第74回牧水祭【牧水没後96年】

- 主催 日向市・日向市教育委員会・日向若山牧水顕彰会
- 期日 令和6年9月17日(火) 牧水の命日
(雨天決行、荒天の場合は順延(前日判断))
- 場所 牧水生家周辺及び牧水公園ふるさとの家
受付 午前9時～ 牧水生家駐車場



〈第1部 歌碑祭〉	時間 9:30～10:00 場所 牧水生家 夫婦歌碑前 内容 歌碑前において短歌朗詠、献酒
〈第2部 牧水を偲ぶ会〉	時間 10:20～14:00 場所 牧水公園ふるさとの家 内容 ○偲ぶ会 10:20～12:00 ①牧水の歌斉唱 坪谷小学校児童 ②対談『牧水と私たち』～追空賞受賞者が語る牧水～ 伊藤一彦氏(歌人、若山牧水記念文学館館長) 吉川宏志氏(歌人、塔短歌会主宰) ○懇談会 12:10～14:00 牧水が好きだった田舎料理を囲んでの懇親会(会費千円)

第14回牧水・短歌甲子園 今年も熱かった 8/17～18

31校52チームから選ばれた12校の高校生たちが日向市に集結!!の予定でしたが、日向灘を震源とする地震発生と台風7号接近により3校が欠場となりました。多少の変更はあったものの、今年も例年どおりの熱い戦いが繰り広げられました。

結果抜粋

- 【団体戦】 優勝 〔沖縄県〕興南学園高等学校 初出場
準優勝 〔宮崎県〕県立宮崎商業高等学校 出場11回
第3位 〔神奈川県〕県立光陵高等学校 出場3回
第3位 〔兵庫県〕灘高等学校 初出場
- 【個人戦】
【牧水賞】…来場者の投票で決まります 〔宮崎県〕尚学館高等部1年 請問 真歩 さん
窓の外見るふりをして君を見る白いブラウス夏はこれから
- 【若山牧水記念文学館賞】 〔宮崎県〕尚学館高等部1年 森山 文結 さん
この恋が終われば死ぬと言いつつ百物語みたいなのこの

観覧者の感想より

(略) 決勝は沖縄興南高校と宮崎商業高校。「パッ」と見て「スッ」と引き込まれる宮崎商業と「パッ」と見て「？」だけど、何度か口ずさむと「ジワリジワリ」奥行きが広がる興南高校。どちらも良い。とても良すぎる勝負。結果、興南高校初優勝!!ベクトルと素材が違うだけ。どちらも素晴らしい。(略)
文学・歴史が日常に浸透している宮崎・日向市 本当に最高です。

2日間の対戦ならびに講評、表彰式の様子は、YouTubeで視聴可能です。どうぞゆっくりご覧ください。今年も多くの話題を残し、牧水のふるさとの熱い夏が終わりました。

牧水先生の後輩、大活躍の夏

☆☆ 牧水・短歌甲子園に出場し、【日向若山牧水顕彰会長賞】を受賞した日向高等学校2年生 那須みらいさんは、牧水の母校坪谷小学校の卒業生です。
「あの頃はイケメンだったあの頃は…」父を横目にはずむ恋バナ

☆☆ 牧水かるた大会(8月23日開催)個人戦に出場し、みごと100枚取って優勝した東郷学園7年生柏田佳波さんも、牧水の母校坪谷小学校の卒業生です。昨年に続き連覇達成です。

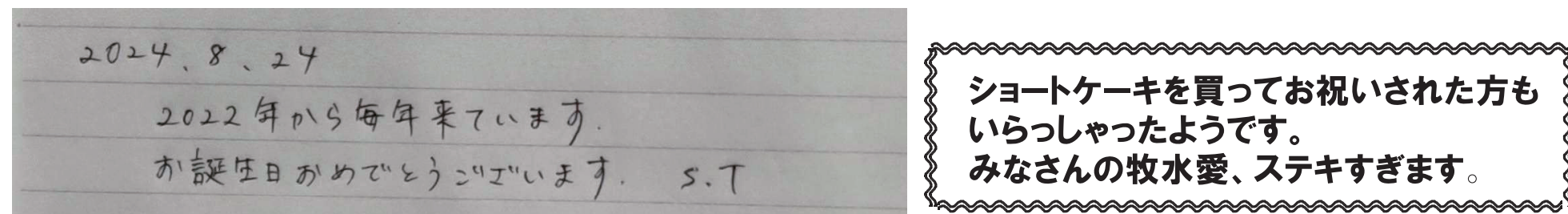
牧水先生の一首

折に触れて出会う一首を紹介しています

つば
壺のなかにねむれるごとしこのふるさとかなしみに壺の透きとほれかし
つばのなかに ねむれるごとし このふるさと かなしみにつばの すきとおれかし
第6歌集『みなかみ』一章「故郷」134首に収められている一首。『みなかみ』には、病に倒れた父立蔵を看取り、これからのことをあれこれ思い悩む歌が多く収められている。中扉に「本書を亡き父に捧ぐ」とあり、亡父の写真、家の写真、家から見た坪谷川溪谷の写真が挿入されており、ふるさと坪谷の思いがたくさん詰まった一冊に仕上がっている。

ほっこりのおすそ分け 8月24日は牧水生誕の日

8月24日は牧水先生、生誕の日でした。生家ノートに・・・



あくがれて宇宙のどこか旅してる一三九歳の牧水さんは
(三世代のいちごつみ No.237 8月24日 伊藤一彦 より)

企画展「牧水記念館ができるまで」

受け継がれる牧水顕彰のこころ

会期 9月1日(日)～10月27日(日)
会場 若山牧水記念文学館企画展示室



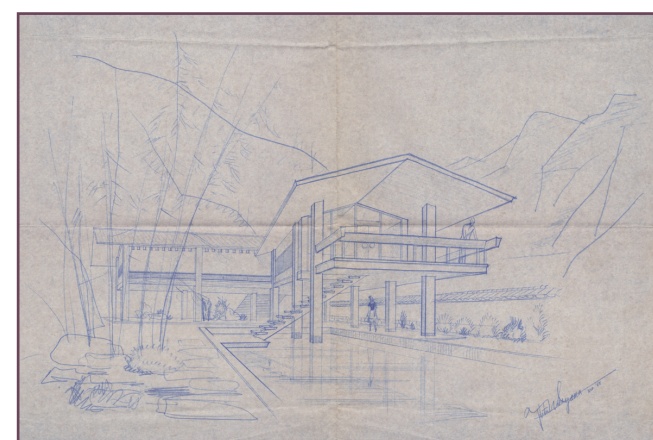
牧水記念館

昭和42年、牧水の故郷坪谷に牧水記念館が建設されました。設計は牧水の長男旅人が担当しました。約40年の間、のべ25万人が来館し、牧水資料の収集保存と情報発信の拠点としての役割を担いました。その想いは若山牧水記念文学館(平成17年開館)に受け継がれています。

今回、牧水記念館に関する建設構想や設計図など貴重な資料を展示します。

※令和2年度に開催した内容をもとに構成

<展示資料より>



【若山旅人による牧水記念館のイメージ図】

昭和40年11月に描いた記念館の外観イメージ。数枚描いており、あわせて展示しています。

若山牧水記念文学館

〒888-0211 宮崎県日向市東郷町坪谷1271番地



■利用案内■
【開館時間】9:00～17:00(入館は16:30まで)
【休館日】月曜日(祝日は除く) 年末年始(12月29日～1月3日)
【入館料】小・中学生/100円 高校生以上/310円(20名以上の団体は2割引)
【お問合せ】TEL 0982-68-9511 FAX 0982-68-9512【公式HP】https://www.bokusui.jp